

木更津市消防団だより

回覧

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(消防総務課)
2016年4月発行
VOL.27



バック
ナンバーへ



纏 まとめ

2016. 春号

団長就任挨拶



木更津市消防団

団長 地 曳 貞 夫

市民の皆様、関係機関の皆様には、平素から木更津市消防団の活動に対し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

私儀、この度、伝統ある木更津市消防団の第16代団長を拝命いたしました。

竹内前団長の2期4年間のご功績により、消防団はこれまでの偉大な歴史と伝統が受け継がれてまいりました。まさに、先人のご努力の上で、その高名な存在が保たれてきたわけでございます。

しかし、全国的に、少子高齢化や、住民ニーズの多様化、団員のサラリーマン化に伴い、残念ながら団員数の減少が進んでおりますのが現状です。

この現況を鑑み、消防団活動としましては、今まで以上に実践的な訓練と教養の習得

を重ね、従来にも増して地域に密着し、地域住民の皆様へ信頼していただける消防団を構築させ、団員の確保に努めてまいり所存でございます。

私も「この御指名にあたり、職責と使命の重さに身の引き締まる思いであります。」

市民の皆様、関係機関の皆様のお託しにお応えできますよう全力を尽くし、先輩方の流れを受け継ぎ、本市のまちづくりの安心・安全のため地域防災の貢献に努めてまいりますと考えておりますので、ご支援、ご協力をお願いします。

結びに、団員のご家族の皆様への消防団活動に対するご理解に、あらためて感謝申し上げますとともに関係各位のご健康とご多幸をご祈念いたしまして就任の挨拶とさせていただきます。

機能別消防団員制度 スタート

消防団の現状と 設立の経緯

地域防災力の主たる役割を担ってきた消防団は、地域住民により構成された公共機関

として活動してきました。しかし、地域の都市化や住民層のサラリーマン化、核家族化により地域コミュニティの低下が指摘され、その影響により消防団員の確保が困難となつていきます。全国に3千を超える消防団は昭和27年の209万人をピークに、近年は団員の高齢化による退団と若い世代、新しい住民層からの入団者減少により、現在では89万人程度に低迷しています。

民を主体として主に啓蒙活動、火災出動、操法訓練や地域の行事への参加等の活動が中心でありました。

機能別消防団員制度は、より多くの団員の獲得を図るとともに、様々な職業上の技術をもつて消防団活動に貢献できる職種の新設により、既存の消防団制度をより臨機応変な対応力を付与する制度とする

機能別消防団員制度を発生させたものであります。

こととして制定されました。特に近年、水害や大地震など、災害が大規模化する中で地域の環境変化に対応することが期待されています。

女性分団を4月1日より発

機能別消防団員 制度の特徴

これまでの消防団は地域住

足し、女性特有の優しさ、きめ細かさを活かし、防火防災啓発活動、応急手当普及啓発活動、消防団行事の参加、災害時後方支援活動などをして参ります。



